

ぐるぐると煮溶かされる

色は完全には混ざり合うことなく

細い短冊状の蜷局を捲いて

渦の中心へ進み続けている

ぼくはあることを思い出したから、食堂に駆け込む

注文は平皿の白米と福神漬け、占めて150円

右回転に溶け切ったはずの彼らは急いで逆回転

ようやく気付いたみたい